No. 338

ことわざ・教養・背景知識 ULTIMATE CHEAT SHEET

背景知識チートシート：環境問題（気候変動・SDGs・生物多様性）

環境の長文は「問題→原因→対策→対策の限界」で進む。対立軸を知れば、筆者の結論が先に読める。

Web版はこちら

ここだけ3行

1. 対策は「緩和（減らす）」と「適応（備える）」の2本立て
2. 論点は「個人の努力か、制度・企業か」「成長と両立できるか」
3. 天気（weather）と気候（climate）を混ぜる議論は誤り

このテーマの長文は「対策の限界」で終わる

環境の長文は、問題を示して終わりではない。多くは「よさそうな対策（リサイクル・植林・エコ商品）にも落とし穴がある」と一段深く掘り、**「だから仕組みごと変える必要がある」**という結論に着地する。However・Yet の後に出る「対策の限界」が設問の的になりやすい。

◆ ① 入試で狙われる論点（対立する見方） 7

☐ 1 個人か、制度か

見方A：一人ひとりの節電・マイバッグが積み重なる。見方B：個人の努力には限界があり、炭素税・規制・企業の脱炭素など社会の仕組みを変えるべき。両方必要が結論になりやすい。

> Individual actions matter, but they are not enough without policy changes.
> 個人の行動は大切だが、政策の変化がなければ十分ではない。

☐ 2 成長と環境は両立するか

見方A：技術革新で、経済成長しながら排出を減らせる（デカップリング＝切り離し）。見方B：豊かな国の消費そのものを減らさない限り無理（脱成長）。

> Can we grow the economy while cutting emissions?
> 排出を減らしながら経済を成長させられるのか。

☐ 3 だれが負担すべきか

先進国は過去に大量に排出してきた。途上国はこれから豊かになる権利を主張する。「共通だが差異ある責任」と、被害を受けやすい国を救う「気候の公正（climate justice）」が論点。

☐ 4 緩和か、適応か

緩和（mitigation）＝排出を減らす根本対策。適応（adaptation）＝堤防・暑さに強い作物など被害に備える。すでに温暖化が進んでいるため「両方必要」が今の主流。

☐ 5 原子力・再エネをどう見るか

太陽光・風力は発電中に CO2 を出さないが天候で発電量が変わり、蓄電が課題。原子力は発電中に CO2 を出さず安定するが、事故の危険と放射性廃棄物が課題。完璧な電源はない、が出発点。

☐ 6 自然を守る理由

人間中心：受粉・水の浄化など自然の恵み（生態系サービス）が失われると人間が困る。自然中心：生き物にはそれ自体の価値がある。長文は前者の「役に立つから守る」論が多い。

☐ 7 「エコ」は本当にエコか

エコバッグも何度も使わなければ、レジ袋より環境負荷が大きいことがある。効率が上がると使用量が増える「リバウンド効果」、見せかけの環境配慮「グリーンウォッシュ」も定番。

◆ ② 論理の流れの典型

型	流れ	設問で狙われる所
問題→解決	現状のデータ→原因→対策の提案	提案の should・need to
常識をくつがえす	「～は環境にやさしい」と思われている→実は…	However の後の新しい見方
コモンズの悲劇	各自が得をしようとする→共有資源が尽きる→ルールが必要	なぜ個人の善意では足りないか
連鎖	ある種が減る→食べる側・食べられる側に波及→生態系が崩れる	因果の順番（並べ替え問題）
賛否の比較	対策の利点→欠点→条件つきの結論	最終段落の筆者の立場

◆ ③ 必須キーワード：概念で覚える 20

英語	和訳	ひと言
☐ **the greenhouse effect**	温室効果	それ自体は地球を暖かく保つ自然現象
☐ **carbon neutral / net zero**	カーボンニュートラル／実質ゼロ	出す量－吸収量＝ゼロ。ほぼ同じ意味で使われる
☐ **carbon sink**	炭素の吸収源	森林・海・土壌
☐ **tipping point**	転換点	超えると急変し、元に戻りにくくなる境目
☐ **feedback loop**	フィードバック（循環）	氷が溶ける→反射が減る→さらに暖まる
☐ **mitigation / adaptation**	緩和／適応	減らす／備える
☐ **carbon footprint**	カーボンフットプリント	生活・製品が出す温室効果ガスの総量（CO2換算）
☐ **carbon tax**	炭素税	排出に値段をつけて減らす
☐ **emissions trading**	排出量取引	排出枠を売買する仕組み
☐ **decoupling**	デカップリング	成長と排出の切り離し
☐ **the tragedy of the commons**	コモンズ（共有地）の悲劇	Hardin（1968）の論文で有名
☐ **ecosystem services**	生態系サービス	受粉・水の浄化など自然の恵み
☐ **keystone species**	キーストーン種	数は少なくても生態系への影響が特に大きい種
☐ **habitat fragmentation**	生息地の分断	道路・開発で住みかが細切れに
☐ **sustainable development**	持続可能な開発	将来世代の必要を損なわない開発
☐ **circular economy**	循環型経済	捨てずに資源を回し続ける
☐ **greenwashing**	グリーンウォッシュ	見せかけの環境配慮
☐ **rebound effect**	リバウンド効果	省エネで浮いた分、かえって多く使う

☐ **environmental refugee**	環境難民	※法的な「難民」の定義には含まれない
☐ **intergenerational equity**	世代間の公平	将来世代へのつけ回しの問題

◆ ④ 制度と数字：確かなものだけ

項目	中身
京都議定書（1997）	先進国に排出削減を義務づけた
パリ協定（2015）	気温上昇を産業革命前から2℃より十分低く、1.5℃に抑える努力。全ての国が目標を出す
SDGs（2015採択）	国連の持続可能な開発目標。17の目標、期限は2030年。環境だけでなく貧困・教育・ジェンダーも含む
IPCC	気候変動に関する政府間パネル。研究を評価して報告書にまとめる国連の組織
現在の温暖化	2011〜2020年の世界の平均気温は1850〜1900年より約1.1℃高い（IPCC 第6次報告書）
モントリオール議定書（1987）	オゾン層を壊すフロンを規制。国際協力の成功例として長文に出やすい

◆ ⑤ 英作文で使える一文 7

☐ **Climate change is a global problem that no country can solve alone.** … 気候変動はどの国も単独では解決できない地球規模の問題だ。
導入の定番。no country can〜で強く言える

☐ **Reducing waste is more effective than recycling it.** … ごみを減らす方がリサイクルするより効果的だ。
3R は Reduce → Reuse → Recycle の順に優先

☐ **Governments should make eco-friendly choices cheaper and easier.** … 政府は環境にやさしい選択を安く簡単にすべきだ。
「個人か制度か」で制度側に立つ一文

☐ **Small changes in our daily lives can add up.** … 日々の小さな変化も積み重なれば大きくなる。
add up＝積み重なる。個人側に立つ一文

☐ **We should not leave the costs to future generations.** … 費用を将来の世代に押しつけるべきではない。
世代間の公平。leave A to B

☐ **Protecting biodiversity is also about protecting ourselves.** … 生物多様性を守ることは私たち自身を守ることでもある。
生態系サービスの論点をひと言で

☐ **Economic growth and environmental protection do not have to conflict.** … 経済成長と環境保護は対立するとは限らない。
do not have to＝〜とは限らない／必要はない

◆ ⑥ よくある誤解 6

☐ ✕ ~~今年の冬は寒いから温暖化はうそだ~~
○ **1年・1地域の天気と、長期の平均である気候は別**
weather は日々の天気、climate は30年ほどの平均

☐ ✕ ~~オゾンホールが地球温暖化の原因~~
○ **オゾン層の破壊と温暖化は別の問題**
前者は紫外線、後者は温室効果ガスの話

☐ ✕ ~~温室効果は悪いもの~~
○ **温室効果がなければ地球は凍える。問題は強まりすぎること**
enhanced（強化された）温室効果が問題

☐ ✕ ~~「生分解性プラ」ならどこでも土に還る~~
○ **多くは高温などの条件が必要で、海では分解しにくいものもある**
名前だけで判断しない、が長文の論点

☐ ✕ ~~木を植えれば排出しても帳消し~~
○ **植林は吸収まで時間がかかり、森林火災などで戻ることもある**
まず排出を減らす（緩和）が基本

☐ ✕ ~~SDGs は環境だけの目標~~
○ **貧困・飢餓・教育・ジェンダー・平和なども含む17目標**
環境・社会・経済の3つをつなぐ考え方

読むときの注意：数字と言い切り
長文では may・could・is likely to など可能性の表現で予測が語られる。選択肢が will・always で言い切っていたら疑う。また「〜%の科学者が同意」などの数字は、何を数えた数字かで意味が変わる。

◆ 確認テスト

1 堤防を高くする・暑さに強い品種を作るなどの対策は？
a adaptation　b mitigation　c decoupling　d emission

2 共有の牧草地が各自の利益追求で荒れ果てる、という考えは？
a greenwashing　b the tragedy of the commons
c a tipping point　d the rebound effect

3 Small changes in our daily lives can ＿＿ up.
a take　b give　c make　d add

4 環境に配慮しているように見せかける宣伝は？
a net zero　b greenwashing　c carbon sink　d circular economy

5 燃費のよい車に替えた人が、前より多く運転するようになる現象は？
a rebound effect　b habitat fragmentation　c carbon tax
d feedback loop

◆ 解答

1 adaptation 被害に備える＝適応
2 the tragedy of the commons 個人の善意では防げない
3 add add up＝積み重なる
4 greenwashing whitewash（ごまかす）のもじり
5 rebound effect 効率化の効果が（一部）打ち消される

参考資料 IPCC 第6次評価報告書 統合報告書 政策決定者向け要約（AR6 SYR SPM）／国連広報センター：持続可能な開発目標（SDGs）